

令和8年4月吉日

日高臨床医勉強会のご案内

令和8年4月の「日高臨床医勉強会」を下記の通りご案内申し上げます。

日常診療でご多忙中とは存じますがご臨席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

日時：令和8年4月23日（木） 19:00～20:00

場所：ひだか病院 診療管理棟3階 講堂

※当日は健康観察およびマスクの着用など感染対策にご理解・ご協力をお願い致します。

<演題>

「小児における尿トラブルの外来診療」

座長 ひだか病院 産婦人科

院長 西森 敬司

演者 ひだか病院 小児科

部長 田中 侑

※本講演会は日本医師会生涯教育講座1単位(CC:65 排尿障害)を取得予定です。

日高医師会学術担当理事 丸山 晋右

事務局 ひだか病院 患者支援センター

TEL:0738(24)1786(直通) FAX:0738(24)2007(直通)

○抄録

小児科における一般外来患者は圧倒的に急性期疾患である感染症によるものが多いが、慢性疾患の鑑別を要する受診相談も少なからず存在する。今回、外来診察室で簡便に施行できる尿検査に関係した慢性疾患について講演する。

①学校検尿

学校検尿は、学校における健康診断の一環として生徒の尿に異常がないかを検査するもので、1974年に本邦で世界に先駆けて開始された。その最たる目的は、慢性腎疾患の早期発見・診断・治療である。学校で行う一次検査にて尿異常を複数回認められた場合に、かかりつけ医を受診し二次検査を行うこととなる。二次検査では検尿・採血に加えて可能であれば超音波検査を行い、著明な異常を認める場合もしくは軽微な異常であっても長期間持続する場合は高次の医療機関への紹介を考慮する。

②夜尿症

定義は「5歳を過ぎても月に1回以上の頻度で、少なくとも3ヶ月以上連続して夜間睡眠中の尿失禁を認めるもの」である。昼間尿失禁などをきたす場合は原因疾患の精査を考慮する必要があるものの、多くは夜間のみ単一症候性であり、その小児全体における有病率は5歳で15%、10歳でも5%とされている。単一症候性夜尿症の治療の基本は生活習慣の調整と排尿日誌であり、これらを徹底しても十分な効果が認められない場合には薬物療法やアラーム療法を追加する。



当日は駐車料金を無料とさせていただきます。
院内の会場まで駐車券をお持ちください。

小児科 外来診療担当医師表

令和8年4月現在

		月	火	水	木	金	医師名
小児科	1診	派遣医	五嶋	田中	派遣医	五嶋	田中 侑 五嶋 文彦 海邊 靖大
	2診	田中	海邊	五嶋	海邊	田中/神経外来 派遣医 第1・3・5/第2・4(予約)	
	午後診 (予約)		予防接種 田中・海邊	腎外来(第3週) 派遣医	1か月健診 五嶋・海邊/消化器外来 派遣医(第1週)	心臓外来(第1~3週) 派遣医	

受付時間 平日(月曜日～金曜日) 午前8時30分～午後5時15分迄
電話 0738-24-1786(直通) FAX 0738-24-2007(直通)

ひだか病院 患者支援センター